


- 6 . スペースアカデミー ラビット手法構築支援

Development Support of the Space Academy Rabbit Methodology

 キーワード	宇宙教育、宇宙教室、プロジェクト管理
Key Word	Space Education, Space School, Project Management

1. 調査の目的

財団法人日本宇宙少年団の活動である「Space Academy」(SA:宇宙教室)において、新しいプロジェクトを企画し成功させるために考案された「ラビット手法」(プロジェクトの企画・立案・実行・改善の一連の流れを実践するための手引)の解説マニュアルの作成支援を行う。

2. 調査研究成果概要

(1) 事前調査

「Space Academy」を先行的に実践している日本宇宙少年団厚木分団のロボットチームの取組状況を調査するとともに、「ラビット手法」適用に際しての課題、工夫、改善点等の抽出を行った。

(2) 手法の解説マニュアルの作成

「ラビット手法」構築の考案、試行・発展にあたった金沢大学加藤隆弘講師および林正之厚木分団長の監修のもと、「ラビット手法」の解説マニュアルの作成を行った。マニュアルは、「Space Academy」などでプロジェクトの企画・立案・実行を支援する指導者を対象とするもので、広く全国の宇宙教育実践者に配布することを想定している。



Step1. 計画づくり (企画の発案)	やりたいことを振り起こそう
Step2. 計画づくり (企画の発案)	なんのためにやるのか、明確にしよう
Step3. 計画づくり (計画の骨組づくり)	やりたいことを絞り込んで、関連する事項別に整理しよう
Step4. 計画づくり (計画の骨組づくり)	プロジェクトの構成要素をデザイン表にして、解決すべき課題を明確にしよう
Step5. 計画づくり (計画の骨組づくり)	デザイン表について発表し、みんなに承認してもらおう
Step6. 計画づくり (計画の内付け)	デザイン表の各項目ごとに、だれが、何を、いつまでに、どれぐらいの予算でやるかを書いた計画表をつくろう
Step7. 計画づくり (計画の内付け)	デザイン表の各項目ごとに、イベント当日には、だれが、何を、いつまでにやるのか、スケジュール表をつくろう
Step8. 実行 (計画の管理・運営)	デザイン表に基づいて、準備作業を進めよう
Step9. 実行 (計画の管理・運営)	スケジュール表に基づいて、当日の運営作業を進めよう
Step10. チェック (情報の把握)	実行が計画どおり行われているかを把握しよう
Step11. 調整・改善 (再発防止)	問題が起きたら、原因を確かめ、再発を防止するための対策を立て、実行しよう
Step12. 調整・改善 (実践経験の整理)	自分たちの実践経験、とくに反省点を後輩につたえるために反省会を開こう
Step13. 調整・改善 (成果と反省点の発表)	プロジェクトの成果や反省会の内容をまとめ、発表しよう
Step14. 調整・改善 (後輩への引き継ぎ)	記録集やレポートをつくり、ウェブなどで公開しよう

ラビット手法の流れ

